

特別寄稿「臓器移植との関わり」



新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院地域救命救急センター長
 新潟県臓器移植推進財団 理事 山口 征吾 先生

私が、はじめて臓器提供の症例に出会ったのは、10数年前の2次病院でした。若い男性が縊頸（いけい）をしているのが発見されました。自己心拍再開はしたものの、意識が戻る可能性はありません。人工呼吸器のついた息子の脇で母親はずっと彼を見つめていました。この世の悲しみをすべて背負ってしまったかのようで、かける声すらみつきりません。数日後、彼の自発呼吸が止まり、瞳孔が散大しました。

母親に、臓器提供の道が残っているかもしれないと告げると、こちらが予想をしないほどの反応で、大賛成してくれました。母は気持ちを切り替えることができました。表情も明るくなり、アルバムを病室に持ち込んで、息子にあんなことやこんなことがあったねと話しかけていました。臓器摘出のあと、母は晴れ晴れとした表情で、息子とともに帰宅しました。息子の臓器が人助けになったこと、臓器がどこかで生きているということが母の心の支えになったのです。母の気持ちの変化は劇的で、もしあの時臓器提供がなされていなかったら、母はおそらく一生大きな心の傷を癒すことはできなかったと思います。

病院としても、私個人としてもわからないことだらけでしたが、コーディネーターのおかげで、経過はスムーズでした。その後、彼に関わった看護師の中で2人がコーディネーターになってみたいと言い出したのですが、それだけインパクトが大きかったという証です。

たくさん臓器提供を経験すると、いろいろなことを感じます。たとえば脳波についてですが、果たして高感度脳波は必要なのか、ノイズと見分けがつかないレベルのものが本当に必要なのか。また全国各地での臓器提供施設での医師の取り組みはどのようなかなどです。日本の遅れた脳死下臓器提供を何とか前進させることができれば、うれしいです。

役員名簿(令和3年11月末現在)

公益財団法人新潟県臓器移植推進財団 役員名簿

令和3年11月30日現在

<p>■理事長 成田 一衛 新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎・膠原病内科学(第二内科) 教授</p> <p>■副理事長 福地 健郎 新潟大学大学院医歯学総合研究科 視覚病態学分野 教授</p> <p>■常務理事 齋藤 和英 新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野 准教授</p> <p>■理事 木下 義昌 新潟大学大学院医歯学総合研究科 小児外科学分野 教授 塚田 芳久 新潟県医師会 副会長 吉澤 豊久 新潟県眼科医会 会長 青池 郁夫 新潟県透析医会 会長 鈴木 栄一 魚沼基幹病院 病院長 山口 征吾 魚沼基幹病院 地域救命救急センター長 宮本 豊博 日本赤十字社新潟県支部 事務局長 佐藤 義尚 新潟県ライオンズ・アイバンク協議会 副理事長 大竹 勝巳 新潟県腎臓病患者友の会 会長</p> <p>■監事 石崎 修 元新潟県三条地域振興局健康福祉環境部参事(医薬予防課長)</p>	<p>■評議員 牛木 辰男 新潟大学 学長 富田 善彦 新潟県病院協会 会長 松田 英伸 新潟大学医歯学総合病院 眼科 准教授 高井 和江 新潟県医師会 理事 川嶋 禎之 長岡赤十字病院 院長 齋藤 有子 (公社)新潟県看護協会 会長 村越 勝蔵 新潟県ライオンズ・アイバンク協議会 副理事長 田中 納次 新潟県厚生農業協同組合連合会 代表理事専任 森澤 真理 新潟日報社 論説編集委員 室長 田中 利夫 日本文理高等学校 副校長 園田 裕久 新潟県長岡保健所長 田中 昌直 新潟県市長会 事務局長 渋谷 聡 新潟県町村会 事務局長 石田 芳英 (株)石鏡工業 代表取締役(新潟移植者の会)</p> <p>■顧問 大石 正夫 荒川 正昭 白根健生病院 眼科医部長 高橋 公太 新潟県福祉保健部参事</p>
---	--

～財団の活動・運営にご協力ください～

当財団では、一人でも多くの患者さんが移植を受けられるよう、県、市町村、患者団体等と連携し、臓器移植に関する知識の普及啓発等に取り組んでまいりました。

財団の活動は基本財産の運用益と皆様からの善意の賛助会費や寄付金で行っております。財団の安定的な活動・運営のため、引き続き、皆様の御協力をお願いいたします。

賛助会加入及び寄付の方法

★賛助会費(年会費)

法人1口	10,000円
個人1口	1,000円

※当法人に賛助会費や寄付金を納められた方は税額控除されます。領収書が必要な方はご連絡ください。

郵便振替の場合	口座番号 00500-4-76919
	公益財団法人新潟県臓器移植推進財団
銀行振込の場合	第四北越銀行 新潟県庁支店
	普通口座 237932 公益財団法人新潟県臓器移植推進財団

